

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	歯性上顎洞炎の臨床的検討 [倫理審査受付番号：第 4928 号]
研究責任者氏名	野口 一馬
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 1 月 25 日～2027 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 歯性上顎洞炎 / 診療科名等： 歯科口腔外科
	受診日：西暦 2021 年 9 月 1 日～ 2024 年 6 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 その他（パノラマ X 線写真・CT）
	取得の方法： 診療の過程で取得 その他（ ）
研究目的・意義	歯性上顎洞炎はう蝕に起因する根尖性歯周炎が原因となり、副鼻腔炎を発症する疾患です。この病気は耳鼻咽喉科と歯科の境界領域にある疾患であることもあり、ガイドラインが作成されておらず、受診する診療科や各施設で治療方針が異なることが現状です。当科で歯性上顎洞炎の診断を得た患者さんを対象に、通常診療で得られたデータを収集解析することにより、治療指針を作成し、異なる医療機関でも同様に、優れた治療計画を選択することができ、本来、抜歯を選択されていた原因歯を保存することが可能となると予想されます。
研究の方法	収集する情報は、患者さんの ID、年齢、性別、パノラマ X 線写真、CT 写真、撮影日、既往歴、服薬歴、初診時の症状（主訴）、治療内容、治療経過です。歯性上顎洞炎は歯の感染が上顎洞に波及することにより発症する疾患であり、重度になると上顎洞と鼻腔をつなぐ小さな穴である自然口が閉塞し、膿の排出路がなくなり、難治性となることがあります。これらの重症化した歯性上顎洞炎や軽度のものに対し、投薬や抜歯、根管治療（歯の神経の治療）、内視鏡下鼻副鼻腔手術（Endoscopic Sinus Surgery：ESS）等の治療を計画、実施しますが、現在は明確なガイドラインはなく、治療の選択やその順序は

	様々になっています。これらを明確化するため、各治療方針の治療成績を症状やCTなどのカルテ情報から記述的に評価する予定です。
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：歯科口腔外科 担当者氏名：野口一馬・富本康平 [電話]（平日9～16時）0798 - 45 - 6670 （上記時間以外） 0798 - 45 - 6111